

次期料金設定・料金表の検討

第4回湖西市水道事業経営審議会

日時 令和5年11月6日 13時30分～

場所 湖西市役所3階 委員会室

所管 湖西市環境部水道課

- 前回審議会資料からの主な変更点 -

①資産維持費相当額の見込み

前回審議会のご指摘及びR5.7.6の厚労省通知を踏まえ、建設改良費に資産維持費相当額を見込んだシミュレーションへ見直し

②上記を反映した必要改定率の算定(4ケース)

建設改良費に資産維持費相当額を見込んだ結果、将来見通しは厳しくなることから、必要な料金改定率について改めて試算

③料金表案の追加

前回審議会でのご指摘を踏まえ、13mm、20mmの基本料金を下げないケースを追加
13mm、20mmの格差低減ケースを2案追加(計5ケースでの比較)

1. 財政シミュレーション
2. 料金改定シミュレーション
3. 次期料金設定・料金表の検討
4. 次回検討項目

1. 財政シミュレーション

1. 財政シミュレーション

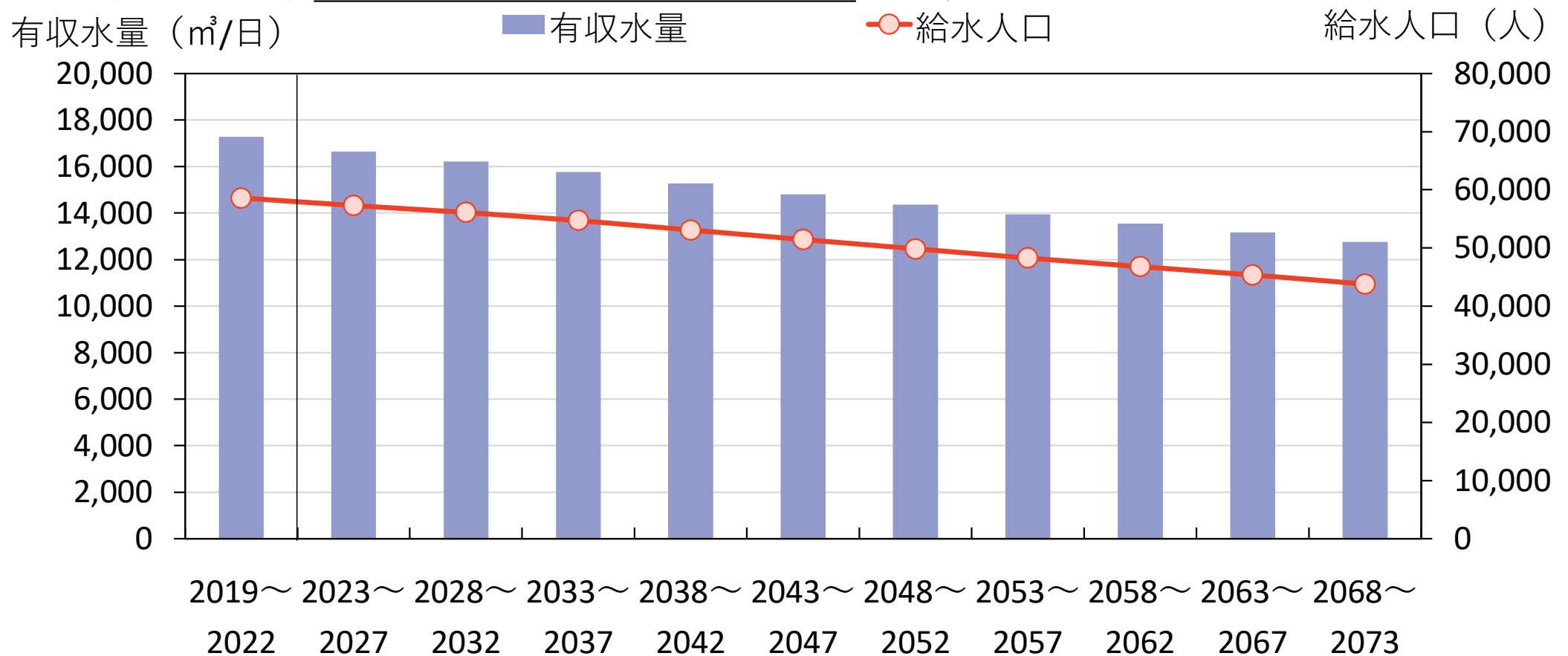
【水需要予測結果】

<人口の予測>

○「湖西市人口ビジョン(令和3年度)」の予測値(高位推計)を採用
給水人口は、20年間で10%、50年間で25%の減少となる見通し

<給水量の予測>

○有収水量は、20年間で11%、50年間で25%の減少となる見通し



※5年平均値 (2068~2073年は6年平均値)

1. 財政シミュレーション

【財政シミュレーションの条件】

(1) 物価上昇率 **支出増↑**

近年物価上昇率が急激に上昇していることを踏まえ、日本銀行が「物価安定の目標」として示している物価上昇率2%※を2033年度まで見込む

※金融政策運営の枠組みのもとでの「物価安定の目標」について(2013年1月22日 日本銀行)

(2) 人件費上昇率 **支出増↑**

物価上昇率の影響を受ける指標であるが、業務効率化に取り組むことも加味し、過去の勧告率の平均を切り上げ、毎年0.2%の上昇を見込む

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	平均値
月例給の勧告率 (%)	0.16	0.09	-	-	0.23	0.16

出典：人事院「給与勧告の骨子」

(3) 動力費・燃料費の高騰 **支出増↑**

動力費・燃料費： 年間で約21,200千円の増加 ※将来20年間の平均増減額

(4) 納付書・検針票のペーパーレス化の実施

口座振替・クレジット利用者への減免 **支出減↓** **収入減↓**

検針票SMS利用者(検針票不要の方を含む)への減免 **支出減↓** **収入減↓**

1. 財政シミュレーション

(5) 資産維持費

【資産維持費について】

○水道資産の更新に充てるために内部留保する資金としては、減価償却費がある。

減価償却費は、取得当時の資産額を元に算定するため、取得当時の物価上昇や施工環境の悪化、施設の機能向上などの費用は含まれていない。

このため、物価上昇による減価償却費の不足や工事の施工環境の悪化による費用の増大等に対応し、水道施設を維持し、適切な給水サービスを継続していくために「資産維持費」を別途見込む必要がある。

○水道料金算定要領(平成27年2月 公社日本水道協会)では、設備投資額の上乗せ率を100%(現有資産額の2倍)とした時の試算結果から、「資産維持率3%」を標準として設定しているが、湖西市でこれを適用した場合、極端に高い料金改定が必要となり、現実的ではない。

このため、**湖西市独自で適正な資産維持費相当額を見込むものとする。**

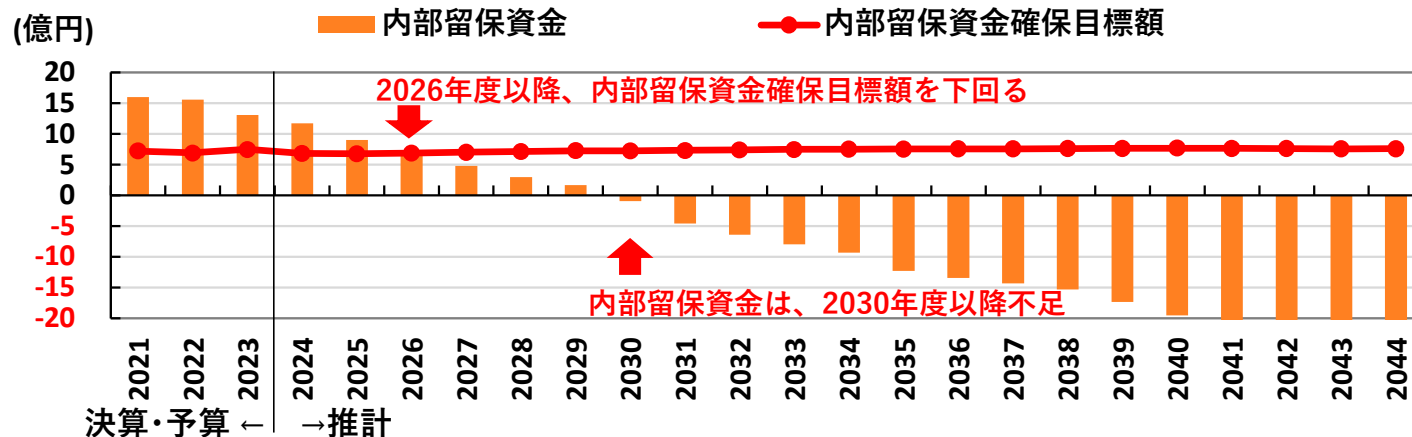
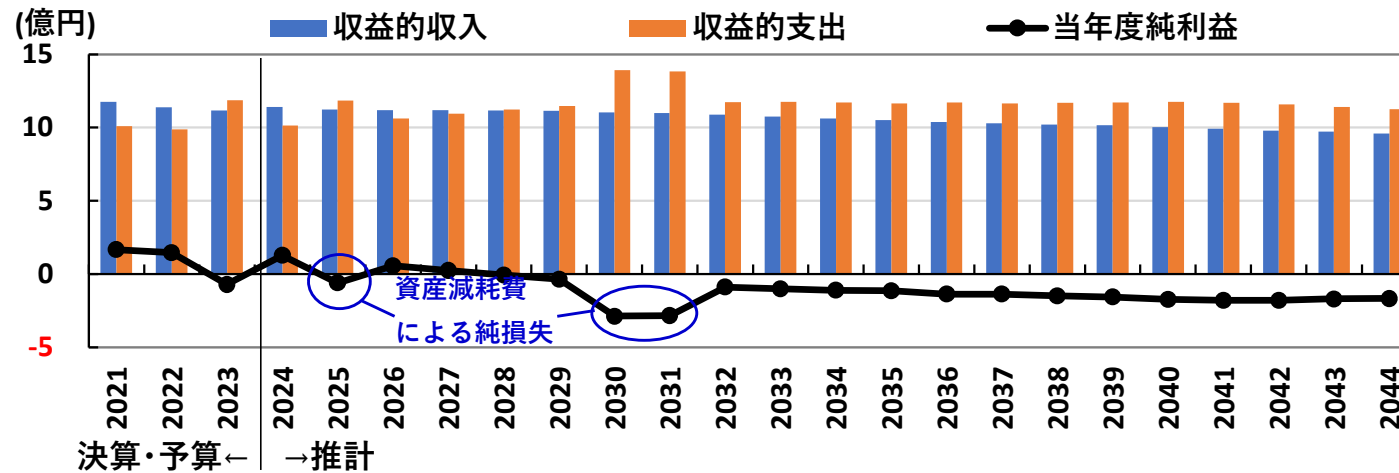
【資産維持費の見込み方針】

○資産維持費として前回までの財政シミュレーションで見込まれていないのは、**建設改良費の現在価格に対する将来の物価上昇分**である。

このため、新たに**建設改良費の現在価格に対し、物価上昇率として「前年度比2%上昇」を2033年度まで見込むものとする。**

1. 財政シミュレーション

【財政シミュレーション 現行料金の場合】



- 純利益は2022年度時点で1.5億円→収入減、支出増により2028年度以降は純損失が発生
- 内部留保資金は2022年度時点で15.6億円
→2026年度以降内部留保資金確保目標額を下回り、2030年度以降は不足

1. 財政シミュレーション

【財政シミュレーション 現行料金の場合】

	決算	予算	予測	→以降5年平均			(百万円)
	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7~R11 2025~2029	R12~R16 2030~2034	R17~R21 2035~2039	R22~R26 2040~2044
収益的収入	1,139	1,115	1,141	1,119	1,085	1,031	981
料金収入	1,009	968	1,002	976	950	923	893
その他収入	130	147	139	143	135	108	88
収益的支出	992	1,187	1,014	1,123	1,260	1,169	1,154
人件費	55	58	60	60	61	61	62
支払利息	8	11	9	13	19	20	19
減価償却費等	364	491	375	466	587	490	476
維持管理費等	561	626	569	583	592	597	596
その他経費	4	1	1	1	1	1	1
収益的収支	147	-72	127	-4	-175	-138	-173

資本的収入	186	236	254	252	142	96	59
企業債	148	193	203	218	135	89	52
その他収入	38	43	51	34	7	7	7
資本的支出	640	778	798	800	623	548	541
建設改良費	574	725	755	755	555	466	455
企業債償還金等	66	53	43	45	68	82	86
資本的収支	-454	-542	-544	-548	-481	-452	-482
内部留保資金	1,561	1,308	1,173	500	-546	-1,412	-2,395

1. 財政シミュレーション

【総括原価の算定 現行料金の場合】

- 料金算定期間(2025～2029年度)における総括原価に対する給水収益は91%と、水道水供給に必要な費用を給水収益で賄えない試算結果となった。

(千円)

費目	2025～2029
営業費用 A	5,535,255
維持管理費（人件費、動力費など）	2,960,822
減価償却費	2,129,988
既存減価償却費	1,474,727
新規減価償却費	655,261
資産減耗費	197,996
その他維持管理費	246,449
資本費用 B	64,327
費用合計 A+B=C	5,599,582
控除項目 D	209,907
受託工事収益	14,050
その他営業収益	99,142
補助金	0
営業外収益	96,715
特別利益	0
総括原価 C-D=E	5,389,675
給水収益 F	4,879,502
給水収益 F/総括原価 E (%)	91%

2. 料金改定シミュレーション

2. 料金改定シミュレーション

【料金改定シミュレーションの条件】

- (1) 初回改定年度を2025(令和7)年度とし、今後の物価上昇等の変動要因も考慮して5年に1度料金見直しを行う
- (2) 収益的収支の純利益を確保する
- (3) 地方公営企業の独立採算の原則から、一般会計からの繰入金は「なし」
- (4) 日常の運転資金や災害時等の非常時に対応するために必要な内部留保資金は、下記に示す目標額を確保する

内部留保資金目標額

= 収益的支出(1年分) + 企業債償還金(1年分) - 減価償却費(1年分)

当面必要な支出額

実支出を伴わない支出額

= **6.8～8.0億円**(年度により変動)

2. 料金改定シミュレーション

【料金改定シミュレーションのケース】

- 給水収益は減少する見通しであるのに対し、維持管理費等の支出や、施設・管路の更新・耐震化のための支出は増加する見通し
- 必要な給水収益を確保するための料金改定率を4ケース設定

ケース	現行料金からの改定率	収益確保額 (期間平均)	2025年度に料金改定をした場合の収支・資金の推移
ケース①	6% 改定相当	1,060,870千円/年	2029年度まで純利益を維持 2027年度まで内部留保資金目標額を確保
ケース②	8% 改定相当	1,082,152千円/年	2033年度まで純利益を維持(※2030～2031年度を除く) 2028年度まで内部留保資金目標額を確保
ケース③	10% 改定相当	1,100,133千円/年	2035年度まで純利益を維持(※2030～2031年度を除く) 2030年度まで内部留保資金目標額を確保
ケース④	12% 改定相当	1,121,261千円/年	2037年度まで純利益を維持(※2030～2031年度を除く) 2030年度まで内部留保資金目標額を確保

※ 2030～2031年度は施設再編のための資産減耗費計上に伴う純損失が発生

2025年度に料金改定をした場合

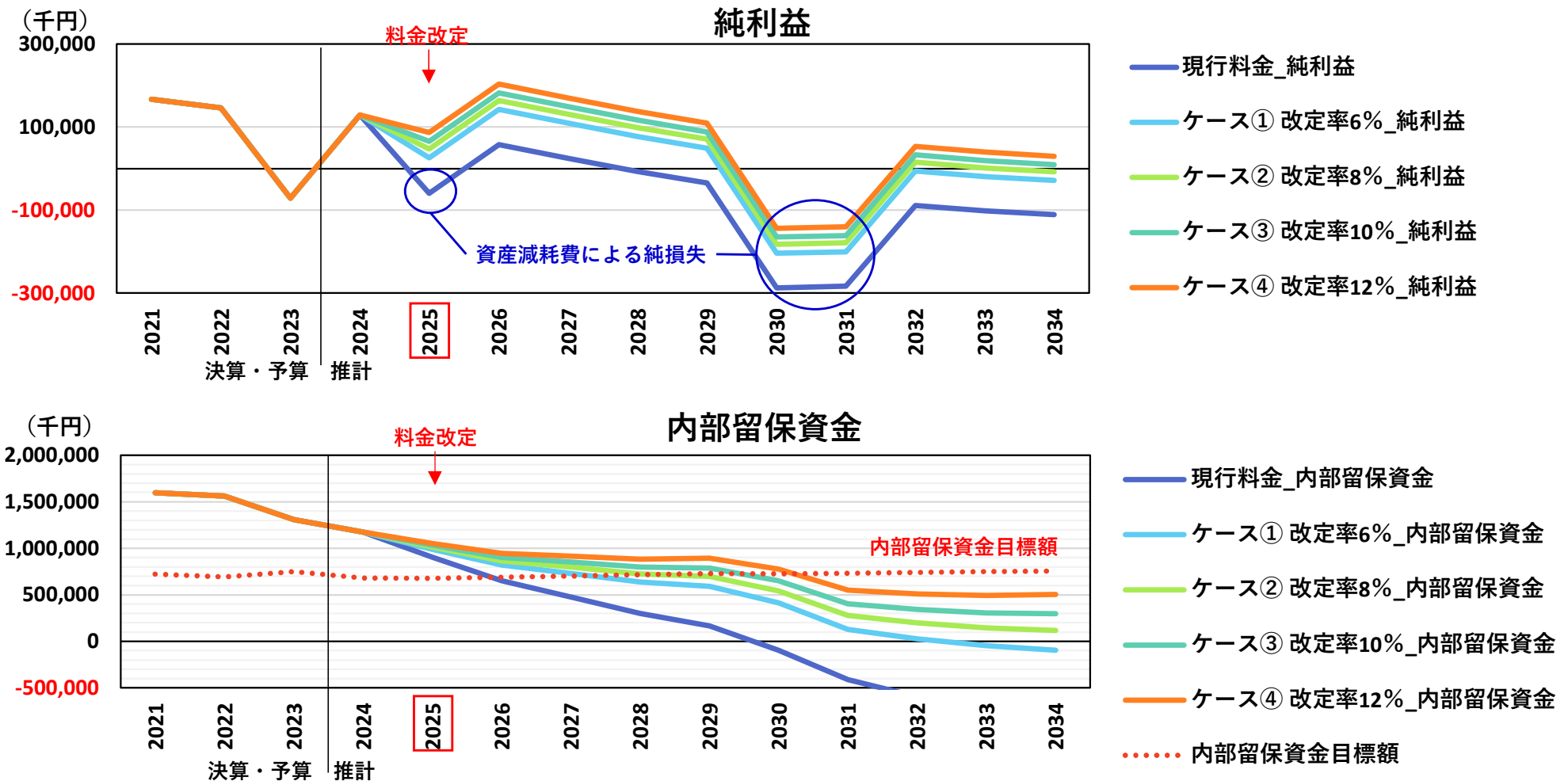
⇒P14

2025年度の料金改定後、5年毎に料金改定を行った場合

⇒P15

2. 料金改定シミュレーション

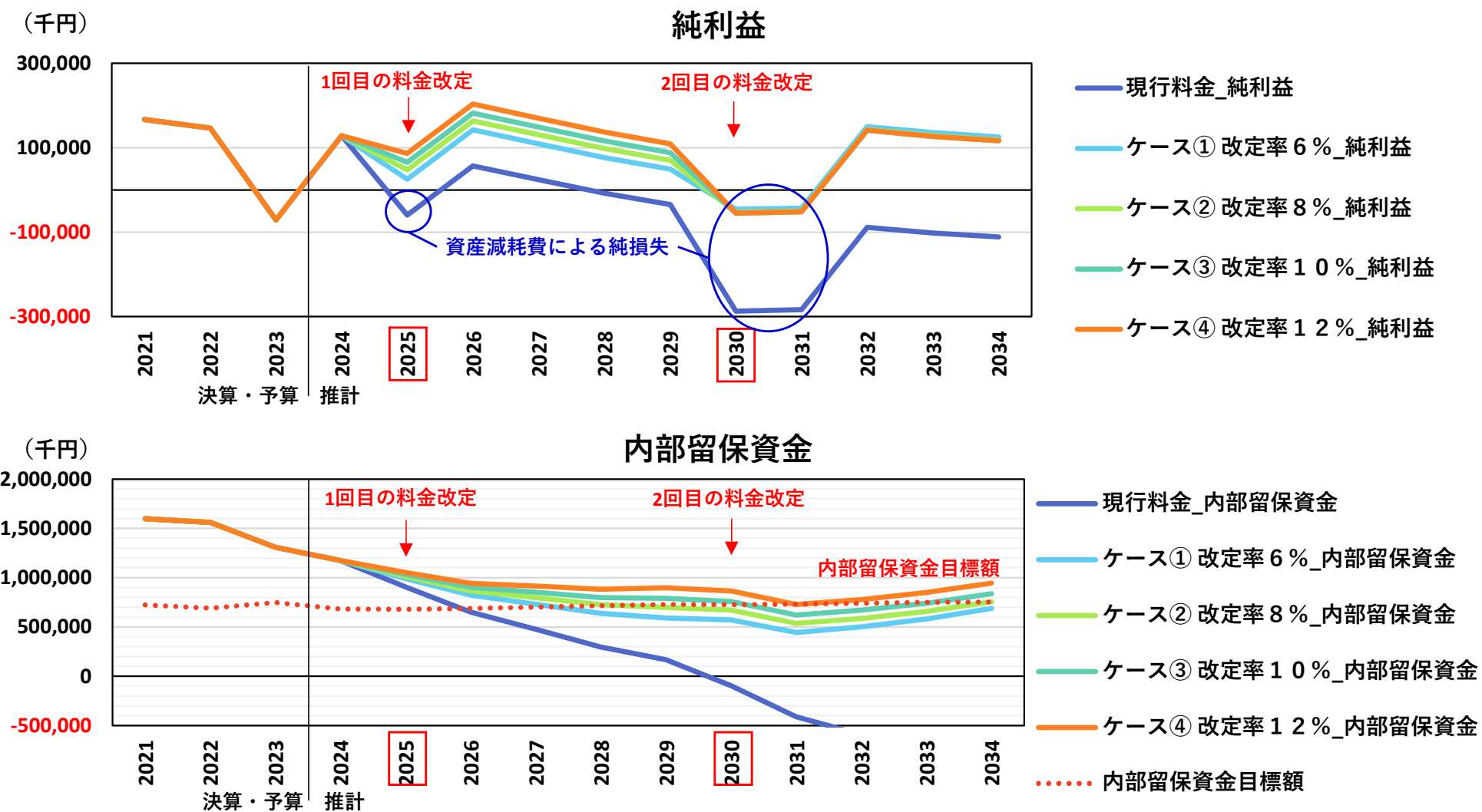
【2025年度に料金改定をした場合】



- 改定率6%、8%では料金算定期間(～2029年)における内部留保資金目標額を確保できない
- 改定率10%、12%の場合は料金算定期間(～2029年)における収益的収支の純利益、内部留保資金目標額を確保可能であるが、その後は純損失が発生し、資金不足となる見通し

2. 料金改定シミュレーション

【2025年度の料金改定後、5年毎に料金改定を行った場合】



改定率は次頁に記載

2. 料金改定シミュレーション

【2025年度の料金改定後、5年毎に料金改定を行った場合】

初回改定率	今回(2025年) 料金改定率	料金算定期間 (2025~2029)の 内部留保資金確保状況	2回目(2030年) の料金改定率 目安	内部留保資金確保額 の最低値 (2031年)
ケース① 6%改定	6%	×	15%	4.4億円
ケース② 8%改定	8%	×	12%	5.4億円
ケース③ 10%改定	10%	○	10%	6.2億円
ケース④ 12%改定	12%	○	8%	7.3億円

※2回目の改定率は供給単価×有収水量予測値で算定した概算値であり、実際の改定率と異なる

【料金算定期間(2025~2029)における内部留保資金の確保状況】

- 6%改定、8%改定の場合、内部留保資金目標額を確保できない
- 10%改定、12%改定の場合、内部留保資金目標額を確保可能

2. 料金改定シミュレーション

【料金改定シミュレーションの結果】 ケース③改定率10%、ケース④改定率12%の場合

料金改定率10%

	決算	予算	予測	→5年平均 (百万円)	
	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7~R11 2025~2029	R12~R16 2030~2034
収益的収入	1,139	1,115	1,141	1,243	1,315
料金収入	1,009	968	1,002	1,100	1,180
その他収入	130	147	139	143	135
収益的支出	992	1,187	1,014	1,123	1,260
人件費	55	58	60	60	61
支払利息	8	11	9	13	19
減価償却費等	364	491	375	466	587
維持管理費等	561	626	569	583	592
その他経費	4	1	1	1	1
収益的収支	147	-72	127	120	55

資本的収入	186	236	254	252	131
企業債	148	193	203	218	124
その他収入	38	43	51	34	7
資本的支出	640	778	798	800	623
建設改良費	574	725	755	755	555
企業債償還金等	66	53	43	45	68
資本的収支	-454	-542	-544	-548	-492
内部留保資金	1,561	1,308	1,173	874	726

料金改定率12%

	決算	予算	予測	→5年平均 (百万円)	
	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7~R11 2025~2029	R12~R16 2030~2034
収益的収入	1,139	1,115	1,141	1,264	1,315
料金収入	1,009	968	1,002	1,121	1,180
その他収入	130	147	139	143	135
収益的支出	992	1,187	1,014	1,123	1,260
人件費	55	58	60	60	61
支払利息	8	11	9	13	19
減価償却費等	364	491	375	466	587
維持管理費等	561	626	569	583	592
その他経費	4	1	1	1	1
収益的収支	147	-72	127	141	55

資本的収入	186	236	254	252	131
企業債	148	193	203	218	124
その他収入	38	43	51	34	7
資本的支出	640	778	798	800	623
建設改良費	574	725	755	755	555
企業債償還金等	66	53	43	45	68
資本的収支	-454	-542	-544	-548	-492
内部留保資金	1,561	1,308	1,173	938	833

2. 料金改定シミュレーション

【料金改定シミュレーション結果 総括原価の算定】

○給水収益と総括原価の比は100%を超えており、水道水供給に必要な費用を給水収益で賄うことができる。

料金改定率10%

(千円)	
費目	2025~2029
営業費用 A	5,535,255
維持管理費（人件費、動力費など）	2,960,822
減価償却費	2,129,988
既存減価償却費	1,474,727
新規減価償却費	655,261
資産減耗費	197,996
その他維持管理費	246,449
資本費用 B	64,327
費用合計 A+B=C	5,599,582
控除項目 D	209,907
受託工事収益	14,050
その他営業収益	99,142
補助金	0
営業外収益	96,715
特別利益	0
総括原価 C-D=E	5,389,675
給水収益 F	5,501,842
給水収益 F/総括原価 E (%)	102%

料金改定率12%

(千円)	
費目	2025~2029
営業費用 A	5,535,255
維持管理費（人件費、動力費など）	2,960,822
減価償却費	2,129,988
既存減価償却費	1,474,727
新規減価償却費	655,261
資産減耗費	197,996
その他維持管理費	246,449
資本費用 B	64,327
費用合計 A+B=C	5,599,582
控除項目 D	209,907
受託工事収益	14,050
その他営業収益	99,142
補助金	0
営業外収益	96,715
特別利益	0
総括原価 C-D=E	5,389,675
給水収益 F	5,607,068
給水収益 F/総括原価 E (%)	104%

2. 料金改定シミュレーション

【料金改定シミュレーションの結果】

2025年度の料金改定後、5年毎に料金改定を行った場合にて考察

- ケース①改定率6%の場合 【内部留保資金NG】
 - ・料金算定期間(2025~2029)の内部留保資金目標額を確保できないため×
 - ・2030年度の料金改定時は、他のケースよりも高い改定率が必要

- ケース②改定率8%の場合 【内部留保資金NG】
 - ・料金算定期間(2025~2029)の内部留保資金目標額を確保できないため×
 - ・2030年度の料金改定時は、他のケースよりも高い改定率が必要

- ケース③改定率10%の場合 【内部留保資金OK】
 - ・料金算定期間(2025~2029)の内部留保資金目標額を確保できる
 - ・2030~2031年は施設統廃合による資産減耗費の計上により一時的な純損失が発生しており、その影響を受けて2031~2033年は目標を確保できないが、その後は内部留保資金目標額を常に確保することができる

- ケース④改定率12%の場合 【内部留保資金OK】
 - ・2031年を除き内部留保資金目標額を確保することができるが、今回検討したケースでは最も利用者負担が高額となる

改定率は10%または12%が適正⇒利用者負担がより少ない「ケース③改定率10%」が妥当

3. 次期料金設定・料金表の検討

3. 次期料金設定・料金表の検討

【水道料金改定(案)の基本方針】

(1) 今後必要となる収入の確保

- ・2025年度に料金改定を行う
- ・2030年度以降は、5年に1度料金改定の必要性を検討し、必要に応じ改定する

(2) 基本水量の廃止

- ・13mm、20mmの基本水量を廃止し、1～16m³に従量料金を設定する。これに伴い、13mm、20mmの基本料金は調整する。
- ・1～16m³の従量単価(137.5円)は、基本料金とのバランスも踏まえ、現行の17～50m³の従量単価(137.5円)の1/4程度の金額とする。

(3) 口径13mmと20mmの水道料金の格差低減

- ・20mmは、現状の基本料金比率が高いため、基本料金の値下げ率を高く設定する。
- ・13mmは、実態の使用水量に見合った料金設定となるよう、基本料金の値下げ率を20mmよりも低く設定する。これにより、13mmと20mmの基本料金の格差を低減する。

(4) 納付書・検針票のペーパーレス化に対する減免の実施

- ・口座振替・クレジット利用者は55円(税込)を減免。 ・検針票SMS利用者は 55円(税込)を減免。

- 基本水量を廃止し、基本料金は据え置きした場合 ⇒【設定案①】
- 【設定案①】に対し、基本料金を値下げした場合 ⇒【設定案②】
- 【設定案②】に加え、13mmと20mmの格差低減を反映 ⇒【設定案③、④、⑤】

3. 次期料金設定・料金表の検討

料金改定率10%

【水道料金改定(案) 料金改定率10%】 設定案① 「基本水量の廃止」「収入の確保」

※13mm・20mmの基本水量を廃止

- ・13mm・20mmの基本水量廃止 → 1m³～16m³単価 35円/m³
- ・その他は、基本料金・水量単価ともに 約3.4%の値上げ

現行			
口径	基本料金		従量料金・使用水量
	水量	金額	
13mm	16m ³	2,200円	17m ³ ~ 50m ³ 137円 50銭 /m ³ 51m ³ ~ 150m ³ 159円 50銭 /m ³ 151m ³ 以上 176円 /m ³
20mm	16m ³	4,180円	1m ³ ~ 50m ³ 143円 /m ³ 51m ³ ~ 150m ³ 159円 50銭 /m ³ 151m ³ ~ 500m ³ 176円 /m ³ 501m ³ 以上 198円 /m ³
25mm		6,160円	1m ³ ~ 300m ³ 165円 /m ³ 301m ³ ~ 1,000m ³ 192円 50銭 /m ³ 1,001m ³ 以上 209円 /m ³
30mm		10,120円	1m ³ ~ 300m ³ 385円 /m ³ 301m ³ ~ 1,000m ³ 440円 /m ³ 1,001m ³ 以上 478円 50銭 /m ³
40mm		20,020円	
50mm		30,140円	
75mm		68,200円	
100mm		118,800円	
150mm		264,000円	

設定案①			
口径	基本料金	従量料金・使用水量	
		13mm	2,270円
20mm	4,320円	51m ³ ~ 150m ³ 165円 /m ³ 151m ³ 以上 182円 /m ³	
25mm	6,370円	1m ³ ~ 50m ³ 148円 /m ³ 51m ³ ~ 150m ³ 165円 /m ³	
30mm	10,460円	151m ³ ~ 500m ³ 182円 /m ³ 501m ³ 以上 205円 /m ³	
40mm	20,700円	1m ³ ~ 300m ³ 171円 /m ³	
50mm	31,160円	301m ³ ~ 1,000m ³ 199円 /m ³	
75mm	70,500円	1,001m ³ 以上 216円 /m ³	
100mm	122,800円		
150mm	273,000円	1m ³ ~ 300m ³ 398円 /m ³ 301m ³ ~ 1,000m ³ 455円 /m ³ 1,001m ³ 以上 495円 /m ³	

※口座振替・クレジット利用者は上記表から -55円(税込)、検針票SMS利用者は -55円(税込)

3. 次期料金設定・料金表の検討

料金改定率10%

【水道料金改定(案) 料金改定率10%】 設定案② 「基本水量の廃止」「収入の確保」

※設定案①に対し、13mm・20mmの基本水量廃止に伴い、基本料金を値下げ

- ・13mm・20mmの基本水量廃止 → 1m³~16m³単価 **37円/m³**
- ・13mmの基本料金 **140円値下げ**、20mmの基本料金 **270円値下げ**
- ・その他は、基本料金・水量単価ともに **約10.0%の値上げ**

現行			
口径	基本料金		従量料金・使用水量
	水量	金額	
13mm	16m ³	2,200円	17m ³ ~ 50m ³ 137円 50銭 /m ³
20mm	16m ³	4,180円	51m ³ ~ 150m ³ 159円 50銭 /m ³ 151m ³ 以上 176円 /m ³
25mm		6,160円	1m ³ ~ 50m ³ 143円 /m ³ 51m ³ ~ 150m ³ 159円 50銭 /m ³
30mm		10,120円	151m ³ ~ 500m ³ 176円 /m ³ 501m ³ 以上 198円 /m ³
40mm		20,020円	1m ³ ~ 300m ³ 165円 /m ³
50mm		30,140円	301m ³ ~ 1,000m ³ 192円 50銭 /m ³
75mm		68,200円	1,001m ³ 以上 209円 /m ³
100mm		118,800円	
150mm		264,000円	1m ³ ~ 300m ³ 385円 /m ³
			301m ³ ~ 1,000m ³ 440円 /m ³
			1,001m ³ 以上 478円 50銭 /m ³

設定案②			
口径	基本料金	従量料金・使用水量	
		13mm	2,060円
20mm	3,910円	51m ³ ~ 150m ³ 175円 /m ³	151m ³ 以上 194円 /m ³
25mm	6,780円	1m ³ ~ 50m ³ 157円 /m ³	51m ³ ~ 150m ³ 175円 /m ³
30mm	11,130円	151m ³ ~ 500m ³ 194円 /m ³	501m ³ 以上 218円 /m ³
40mm	22,020円	1m ³ ~ 300m ³ 182円 /m ³	
50mm	33,150円	301m ³ ~ 1,000m ³ 212円 /m ³	
75mm	75,000円	1,001m ³ 以上 230円 /m ³	
100mm	130,700円		
150mm	290,000円	1m ³ ~ 300m ³ 424円 /m ³	
		301m ³ ~ 1,000m ³ 484円 /m ³	
		1,001m ³ 以上 526円 /m ³	

※口座振替・クレジット利用者は上記表から -55円(税込)、検針票SMS利用者は -55円(税込)

3. 次期料金設定・料金表の検討

料金改定率10%

【水道料金改定(案) 料金改定率10%】 設定案③ 口径13mmと20mmの水道料金の格差低減

※設定案②に加え、13mmと20mmの水道料金の格差を低減

- ・13mm・20mmの基本水量廃止 → 1m³～16m³単価 37円/m³
- ・13mmの基本料金 70円値下げ、20mmの基本料金 310円値下げ
- ・その他は、基本料金・水量単価ともに 約8.9%の値上げ

現行			
口径	基本料金		従量料金・使用水量
	水量	金額	
13mm	16m ³	2,200円	17m ³ ~ 50m ³ 137円 50銭 /m ³ 51m ³ ~ 150m ³ 159円 50銭 /m ³ 151m ³ 以上 176円 /m ³
20mm	16m ³	4,180円	1m ³ ~ 50m ³ 143円 /m ³ 51m ³ ~ 150m ³ 159円 50銭 /m ³ 151m ³ ~ 500m ³ 176円 /m ³ 501m ³ 以上 198円 /m ³
25mm		6,160円	1m ³ ~ 300m ³ 165円 /m ³ 301m ³ ~ 1,000m ³ 192円 50銭 /m ³ 1,001m ³ 以上 209円 /m ³
30mm		10,120円	1m ³ ~ 300m ³ 385円 /m ³ 301m ³ ~ 1,000m ³ 440円 /m ³ 1,001m ³ 以上 478円 50銭 /m ³
40mm		20,020円	
50mm		30,140円	
75mm		68,200円	
100mm		118,800円	
150mm		264,000円	

設定案③			
口径	基本料金	従量料金・使用水量	
		13mm	2,130円
20mm	3,870円	1m ³ ~ 50m ³ 156円 /m ³ 51m ³ ~ 150m ³ 174円 /m ³ 151m ³ ~ 500m ³ 192円 /m ³ 501m ³ 以上 216円 /m ³	
25mm	6,710円	1m ³ ~ 300m ³ 180円 /m ³ 301m ³ ~ 1,000m ³ 210円 /m ³ 1,001m ³ 以上 228円 /m ³	
30mm	11,020円	1m ³ ~ 300m ³ 419円 /m ³ 301m ³ ~ 1,000m ³ 479円 /m ³ 1,001m ³ 以上 521円 /m ³	
40mm	21,800円		
50mm	32,820円		
75mm	74,300円		
100mm	129,400円		
150mm	287,000円		

※口座振替・クレジット利用者は上記表から -55円(税込)、検針票SMS利用者は -55円(税込)

3. 次期料金設定・料金表の検討

料金改定率10%

【水道料金改定(案) 料金改定率10%】 設定案④ 口径13mmと20mmの水道料金の格差低減

※設定案②に加え、13mmと20mmの水道料金の格差をさらに低減

- ・13mm・20mmの基本水量廃止 → 1m³～16m³単価 37円/m³
- ・13mmの基本料金 10円値上げ、20mmの基本料金 340円値下げ
- ・その他は、基本料金・水量単価ともに 約8.1%の値上げ

現行			
口径	基本料金		従量料金・使用水量
	水量	金額	
13mm	16m ³	2,200円	17m ³ ~ 50m ³ 137円 50銭 /m ³ 51m ³ ~ 150m ³ 159円 50銭 /m ³ 151m ³ 以上 176円 /m ³
20mm	16m ³	4,180円	1m ³ ~ 50m ³ 143円 /m ³ 51m ³ ~ 150m ³ 159円 50銭 /m ³ 151m ³ ~ 500m ³ 176円 /m ³ 501m ³ 以上 198円 /m ³
25mm		6,160円	1m ³ ~ 300m ³ 165円 /m ³ 301m ³ ~ 1,000m ³ 192円 50銭 /m ³ 1,001m ³ 以上 209円 /m ³
30mm		10,120円	1m ³ ~ 300m ³ 165円 /m ³ 301m ³ ~ 1,000m ³ 192円 50銭 /m ³ 1,001m ³ 以上 209円 /m ³
40mm		20,020円	1m ³ ~ 300m ³ 165円 /m ³ 301m ³ ~ 1,000m ³ 192円 50銭 /m ³ 1,001m ³ 以上 209円 /m ³
50mm		30,140円	1m ³ ~ 300m ³ 165円 /m ³ 301m ³ ~ 1,000m ³ 192円 50銭 /m ³ 1,001m ³ 以上 209円 /m ³
75mm		68,200円	1m ³ ~ 300m ³ 165円 /m ³ 301m ³ ~ 1,000m ³ 192円 50銭 /m ³ 1,001m ³ 以上 209円 /m ³
100mm		118,800円	1m ³ ~ 300m ³ 165円 /m ³ 301m ³ ~ 1,000m ³ 192円 50銭 /m ³ 1,001m ³ 以上 209円 /m ³
150mm		264,000円	1m ³ ~ 300m ³ 385円 /m ³ 301m ³ ~ 1,000m ³ 440円 /m ³ 1,001m ³ 以上 478円 50銭 /m ³

設定案④			
口径	基本料金	従量料金・使用水量	
		13mm	2,210円
20mm	3,840円	1m ³ ~ 50m ³ 155円 /m ³ 51m ³ ~ 150m ³ 172円 /m ³ 151m ³ ~ 500m ³ 190円 /m ³ 501m ³ 以上 214円 /m ³	
25mm	6,660円	1m ³ ~ 300m ³ 178円 /m ³ 301m ³ ~ 1,000m ³ 208円 /m ³ 1,001m ³ 以上 226円 /m ³	
30mm	10,940円	1m ³ ~ 300m ³ 178円 /m ³ 301m ³ ~ 1,000m ³ 208円 /m ³ 1,001m ³ 以上 226円 /m ³	
40mm	21,640円	1m ³ ~ 300m ³ 178円 /m ³ 301m ³ ~ 1,000m ³ 208円 /m ³ 1,001m ³ 以上 226円 /m ³	
50mm	32,580円	1m ³ ~ 300m ³ 178円 /m ³ 301m ³ ~ 1,000m ³ 208円 /m ³ 1,001m ³ 以上 226円 /m ³	
75mm	73,700円	1m ³ ~ 300m ³ 178円 /m ³ 301m ³ ~ 1,000m ³ 208円 /m ³ 1,001m ³ 以上 226円 /m ³	
100mm	128,400円	1m ³ ~ 300m ³ 178円 /m ³ 301m ³ ~ 1,000m ³ 208円 /m ³ 1,001m ³ 以上 226円 /m ³	
150mm	285,000円	1m ³ ~ 300m ³ 416円 /m ³ 301m ³ ~ 1,000m ³ 476円 /m ³ 1,001m ³ 以上 517円 /m ³	

※口座振替・クレジット利用者は上記表から -55円(税込)、検針票SMS利用者は -55円(税込)

3. 次期料金設定・料金表の検討

料金改定率10%

【水道料金改定(案) 料金改定率10%】 設定案⑤ 口径13mmと20mmの水道料金の格差低減

※設定案②に加え、13mmと20mmの水道料金を統一

- ・13mm・20mmの基本水量廃止 → 1m³～16m³単価 37円/m³
- ・13mmの基本料金 520円値上げ、20mmの基本料金 1,460円値下げ
- ・その他は、基本料金・水量単価ともに 約10.0%の値上げ

現行			
口径	基本料金		従量料金・使用水量
	水量	金額	
13mm	16m ³	2,200円	17m ³ ~ 50m ³ 137円 50銭 /m ³ 51m ³ ~ 150m ³ 159円 50銭 /m ³ 151m ³ 以上 176円 /m ³
20mm	16m ³	4,180円	1m ³ ~ 50m ³ 143円 /m ³ 51m ³ ~ 150m ³ 159円 50銭 /m ³ 151m ³ ~ 500m ³ 176円 /m ³ 501m ³ 以上 198円 /m ³
25mm		6,160円	1m ³ ~ 300m ³ 165円 /m ³ 301m ³ ~ 1,000m ³ 192円 50銭 /m ³ 1,001m ³ 以上 209円 /m ³
30mm		10,120円	1m ³ ~ 300m ³ 385円 /m ³ 301m ³ ~ 1,000m ³ 440円 /m ³ 1,001m ³ 以上 478円 50銭 /m ³
40mm		20,020円	
50mm		30,140円	
75mm		68,200円	
100mm		118,800円	
150mm		264,000円	

設定案⑤			
口径	基本料金	従量料金・使用水量	
		13mm	2,720円
20mm	2,720円	1m ³ ~ 50m ³ 157円 /m ³ 51m ³ ~ 150m ³ 175円 /m ³ 151m ³ ~ 500m ³ 194円 /m ³ 501m ³ 以上 218円 /m ³	
25mm	6,780円	1m ³ ~ 300m ³ 182円 /m ³ 301m ³ ~ 1,000m ³ 212円 /m ³ 1,001m ³ 以上 230円 /m ³	
30mm	11,130円		
40mm	22,020円		
50mm	33,150円		
75mm	75,000円		
100mm	130,700円		
150mm	290,000円		

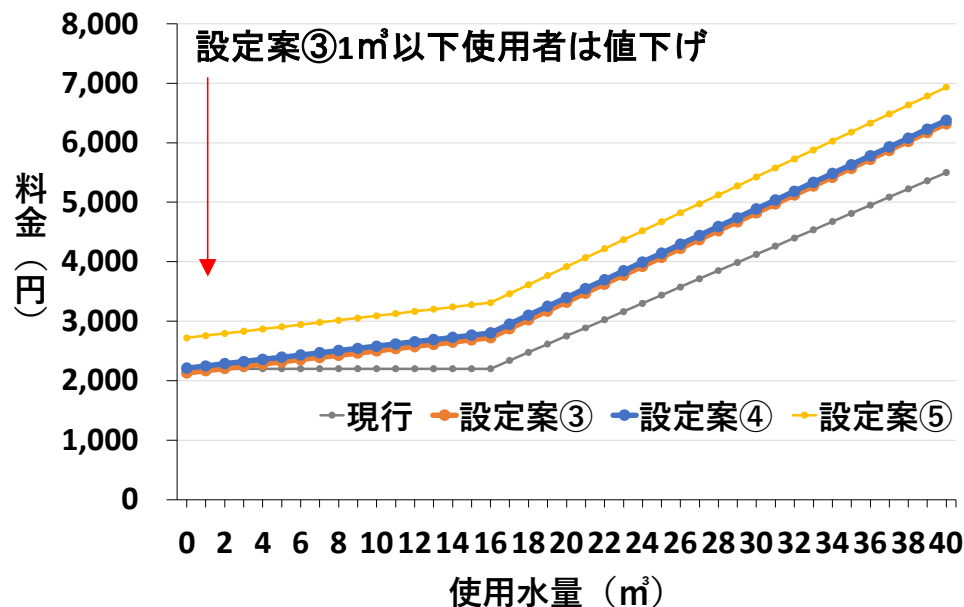
※口座振替・クレジット利用者は上記表から -55円(税込)、検針票SMS利用者は -55円(税込)

3. 次期料金設定・料金表の検討

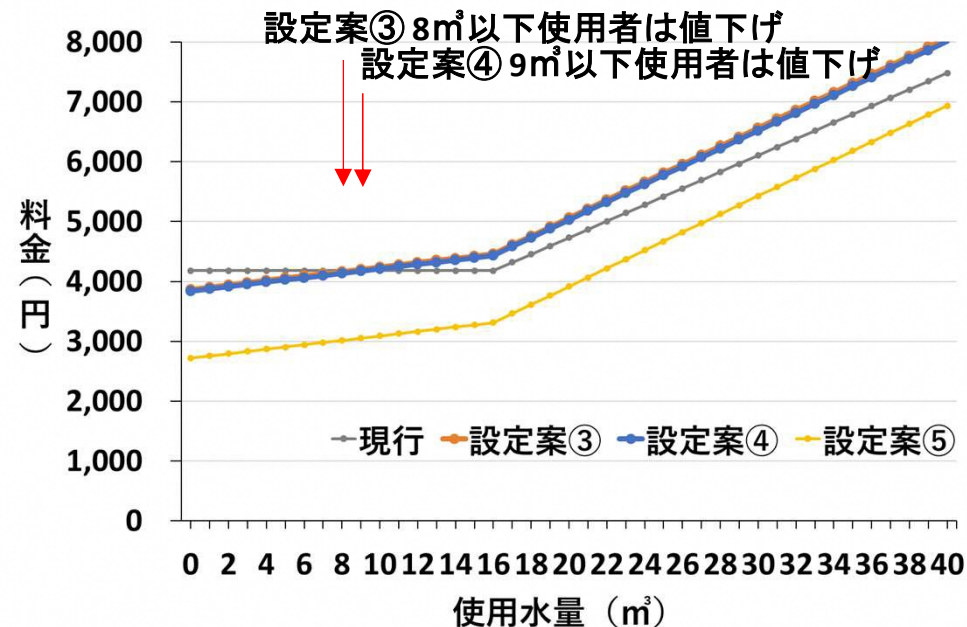
料金改定率10%

【2か月の使用料金 料金改定率10%】

13mmの使用料金



20mmの使用料金



ケース	13mm使用料金(40m³/2か月)		20mm使用料金(40m³/2か月)	
現行	5,500円	—	7,480円	—
設定案③	6,322円	+ 822円	8,062円	+ 582円
設定案④	6,378円	+ 878円	8,008円	+ 528円
設定案⑤	6,936円	+1,436円	6,936円	— 544円

※口座振替・クレジット利用者は上記表から -55円(税込)、検針票SMS利用者は -55円(税込)

3. 次期料金設定・料金表の検討

【水道料金改定(案)について】

料金改定の基本方針を満たす案は「設定案③」、「設定案④」、「設定案⑤」であるが、「設定案⑤」は13mm使用者の負担が極端に大きくなるため、以降は「設定案③」、「設定案④」2つの比較を行う。

※設定案①では、13mm、20mmの基本料金を下げないため、13mm、20mm使用者の負担が他の口径よりも大きくなる。

※設定案②では、13mmと20mmの格差を低減しないため、同じ用途での使用にもかかわらず20mm使用者の負担が13mm使用者より大きくなる。

※設定案⑤では、13mmと20mmの基本料金を統一するため、13mm使用者の負担が現状と比較して極端に大きくなり、影響が大きい。

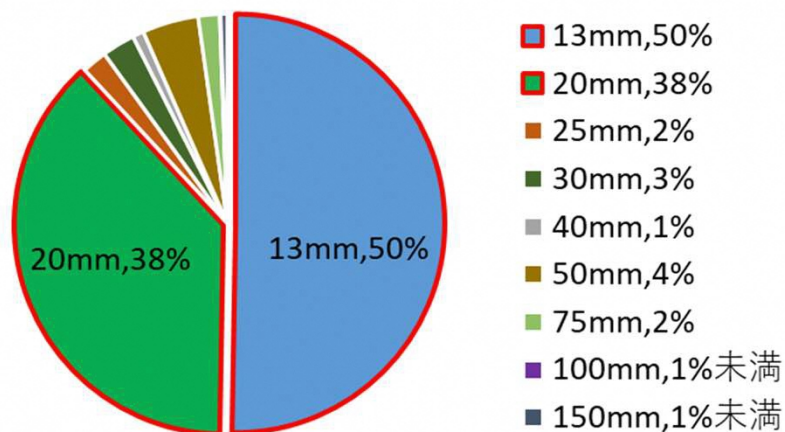
3. 次期料金設定・料金表の検討

(3) 口径13mmと20mmの水道料金の格差低減

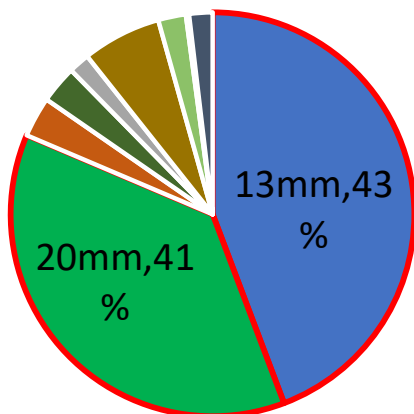
設定案③、設定案④ともに、現行料金体系と比較して給水収益の割合は13mmが増加、20mmが減少し、格差を低減できる。(設定案④の方が格差の低減効果は大きい)

<全ケース共通>

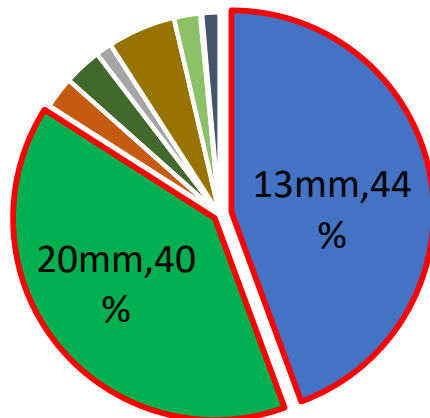
口径別給水量



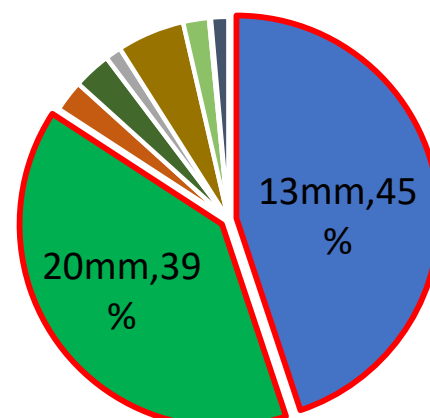
<現行料金体系>
口径別給水収益



<設定案③>
口径別給水収益



<設定案④>
口径別給水収益



※いずれのケースも料金算定期間における将来水量(給水件数及びランク別給水量の将来見通し)より算定

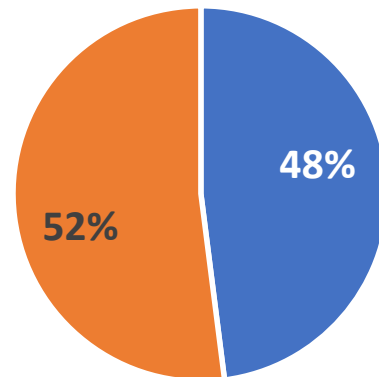
3. 次期料金設定・料金表の検討

【基本料金と従量料金の比率】

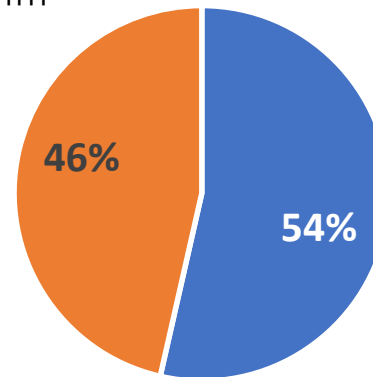
設定案③、設定案④では、いずれも基本料金と従量料金の比率を適正な配分(4:6)に近づけることができる。(設定案④の方が13mmと20mmの基本料金の割合差をより低減することができる)

<現行料金体系>

13mm



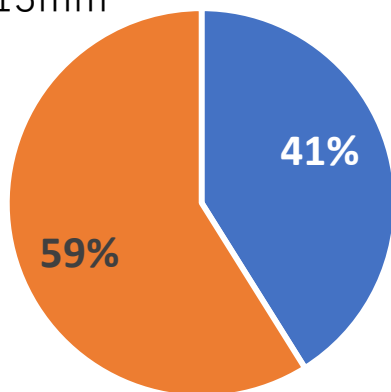
20mm



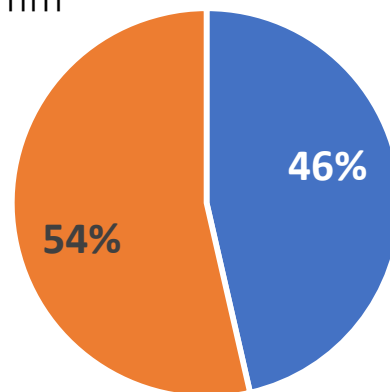
■ 基本料金
■ 従量料金

設定案③ (R7~R11 平均)

13mm

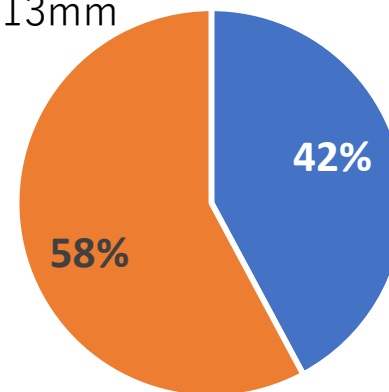


20mm

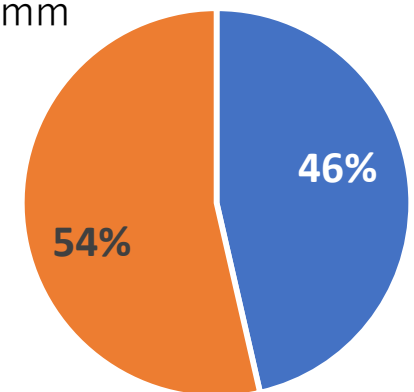


設定案④ (R7~R11 平均)

13mm



20mm



※いずれのケースも料金算定期間における将来水量(給水件数及びランク別給水量の将来見通し)より算定

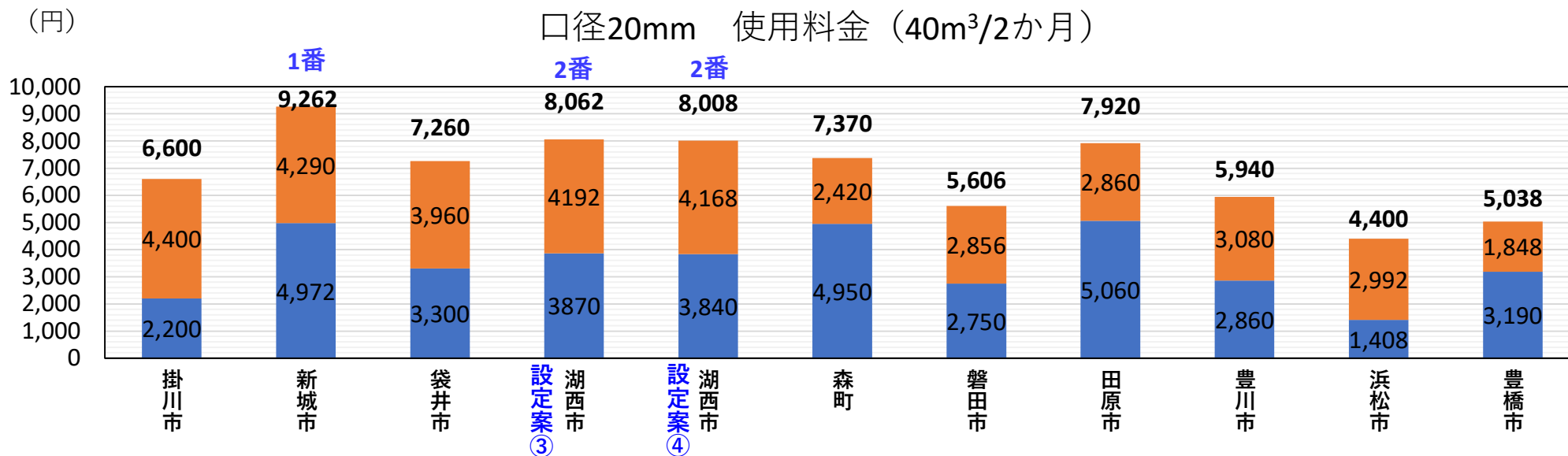
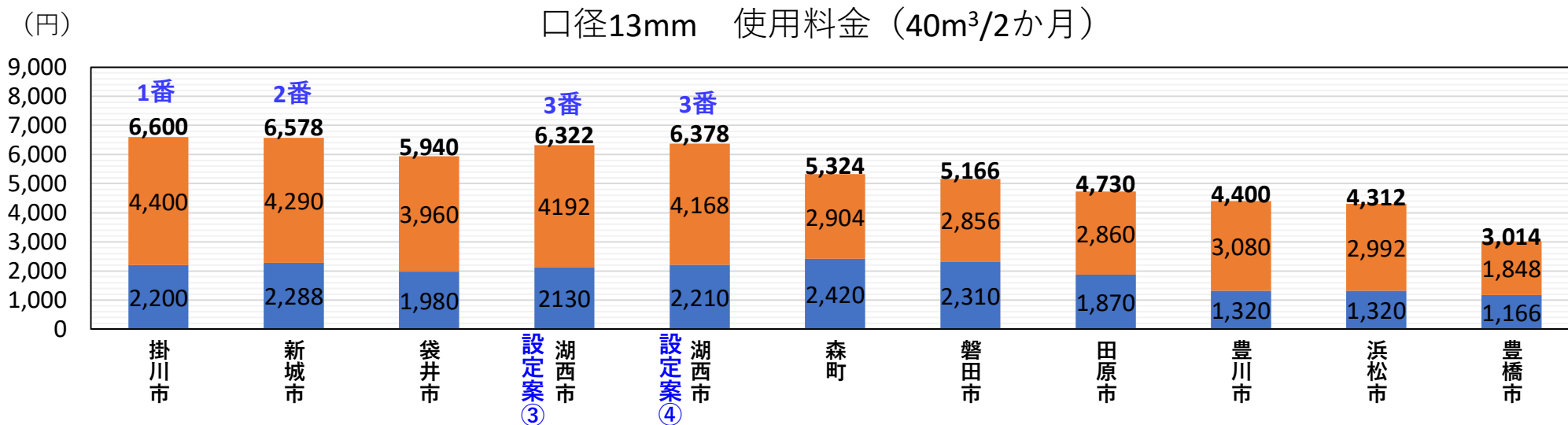
3. 次期料金設定・料金表の検討

減免前

【近隣事業体との水道料金比較】

近隣事業体との比較では、設定案③、設定案④どちらも13mmは3番目、20mmは2番目に高い料金設定となる。

- 基本料金
- 従量料金



3. 次期料金設定・料金表の検討

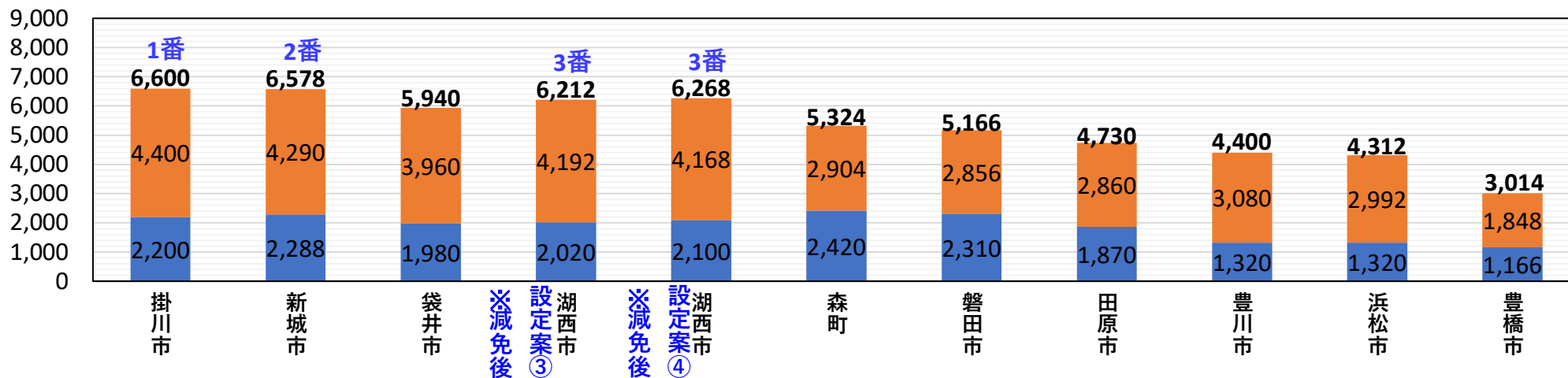
減免後

【近隣事業体との水道料金比較】

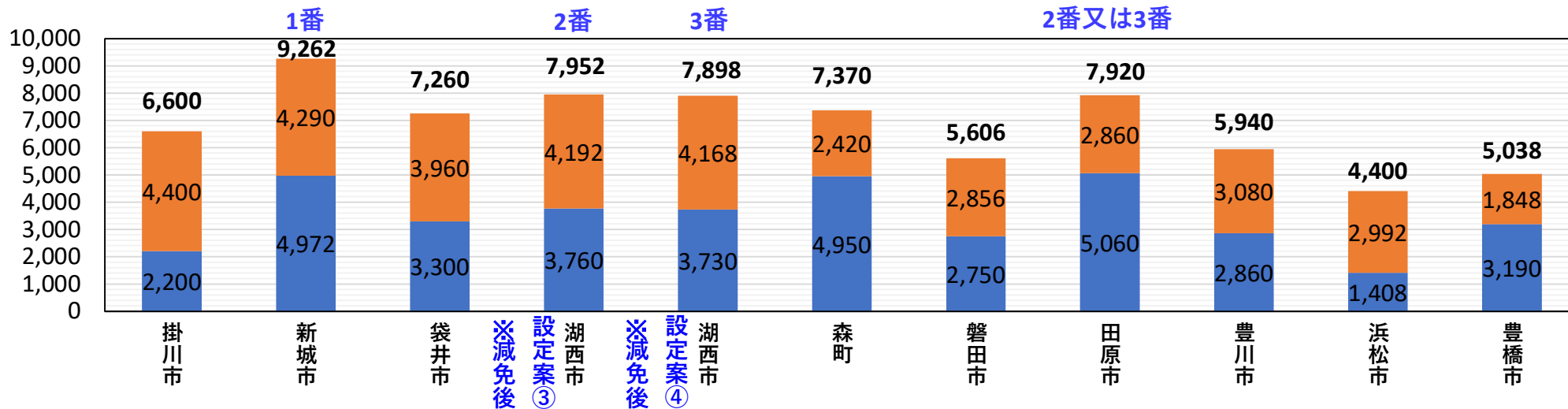
近隣事業体との比較では、設定案③、設定案④どちらも13mmは3番目、20mmは設定案③では2番目、設定案④では3番目に高い料金設定となる。

■ 基本料金
■ 従量料金

(円) 口径13mm 使用料金 (40m³/2か月)



(円) 口径20mm 使用料金 (40m³/2か月)



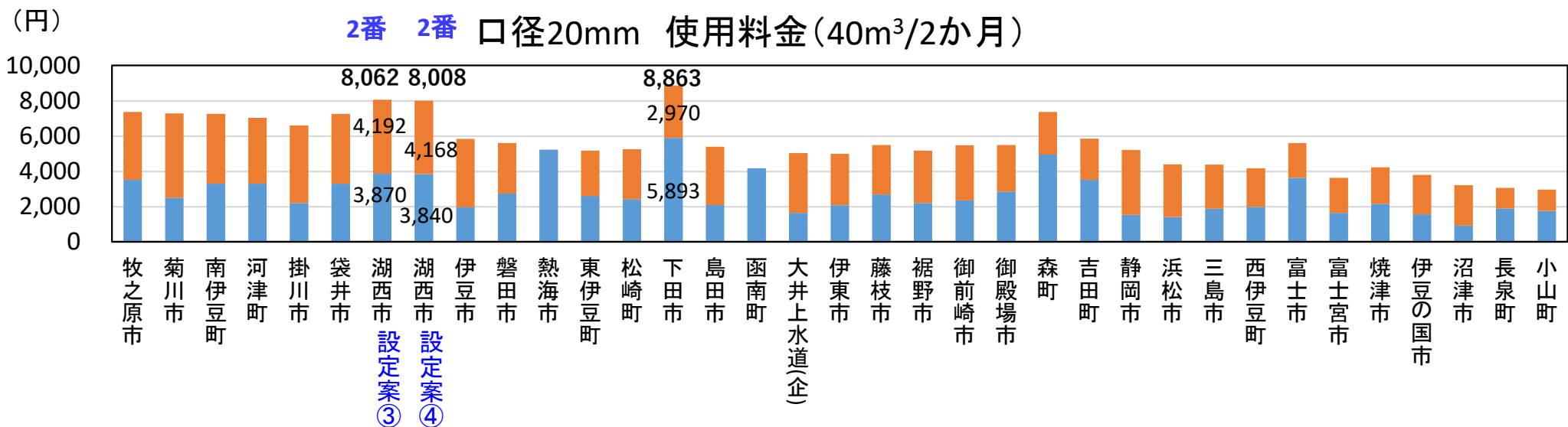
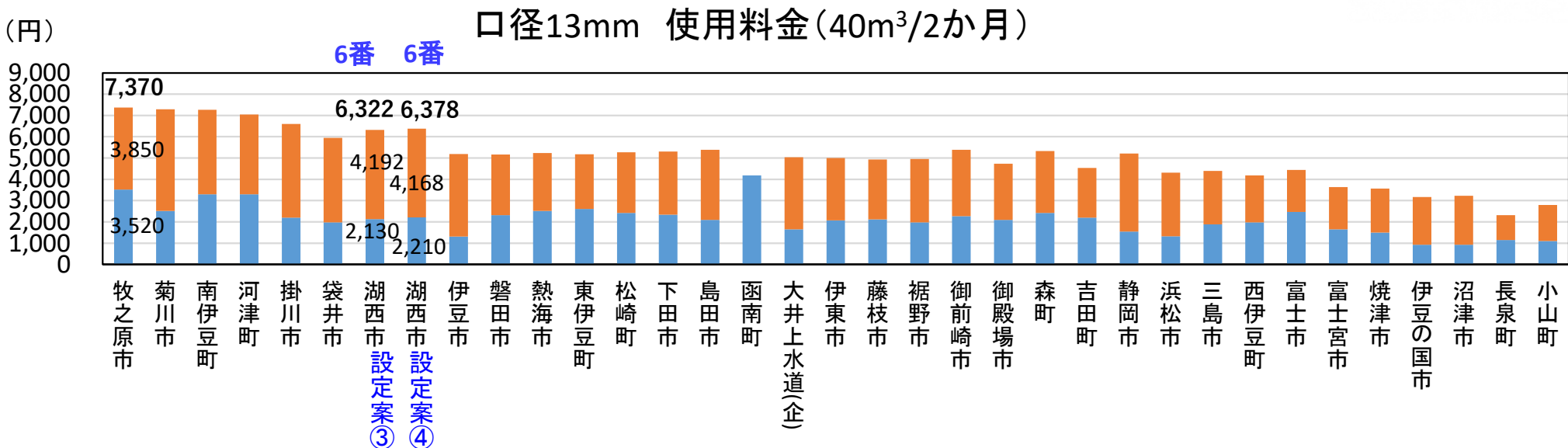
3. 次期料金設定・料金表の検討

減免前

【県内事業体との水道料金比較】

県内事業体との比較では、設定案③、設定案④どちらも13mmは6番目、20mmは2番目に高い料金設定となる。

■ 基本料金
■ 従量料金



3. 次期料金設定・料金表の検討

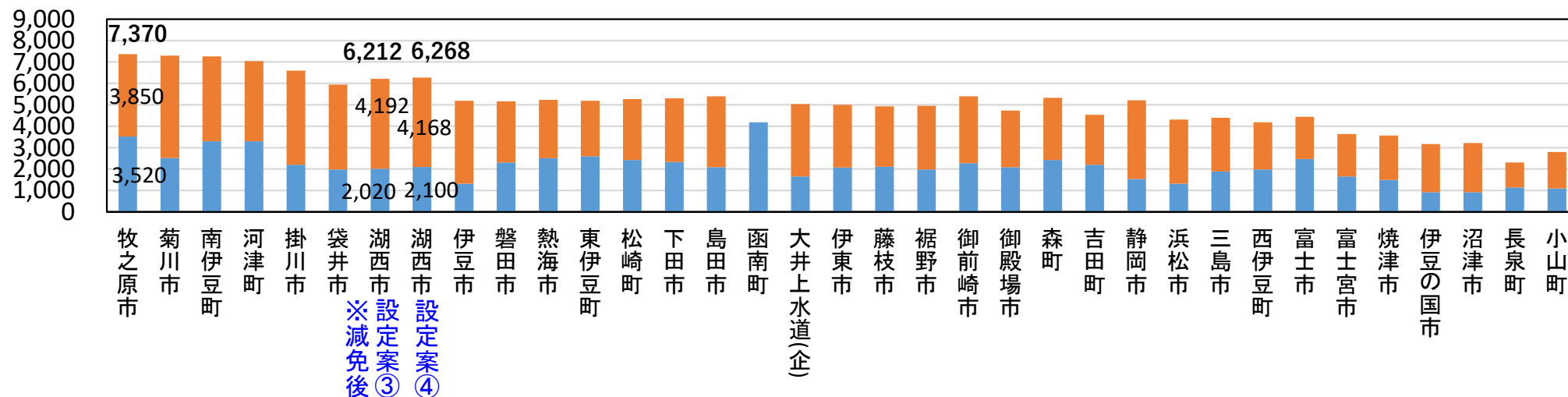
減免後

【県内事業者との水道料金比較】

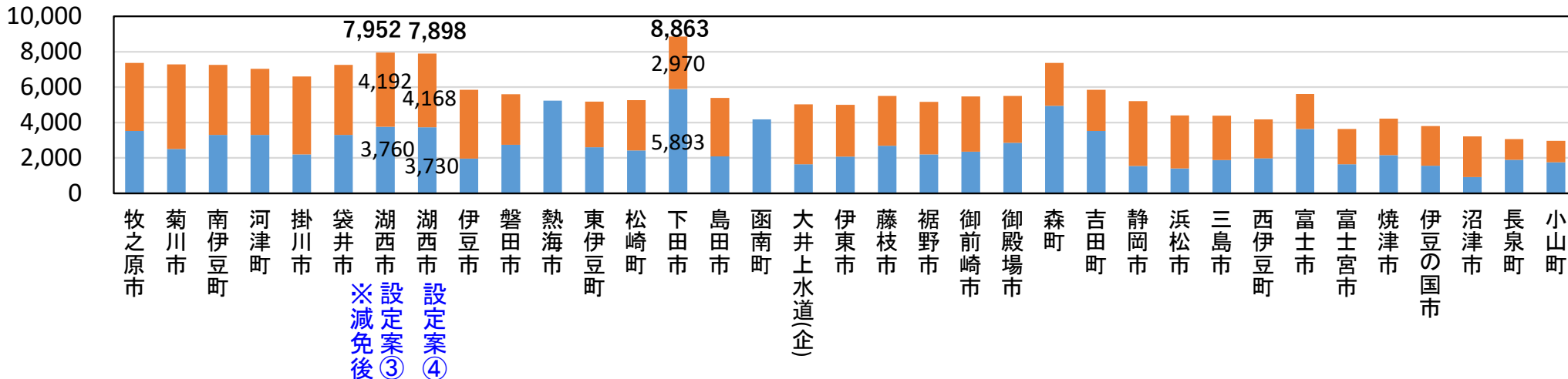
県内事業者との比較では、設定案③、設定案④どちらも13mmは6番目、20mmは2番目に高い料金設定となる。

■ 基本料金
■ 従量料金

(円) 6番 6番 口径13mm 使用料金(40m³/2か月)



(円) 2番 2番 口径20mm 使用料金(40m³/2か月)



3. 次期料金設定・料金表の検討

【近年料金改定した事業体の改定率と料金】

近年料金改定を行った事業体における家事用改定率は11.4～34.3%※新城市、森町、小山町、富士市を除く

		改定年	全平均改定率 (%)	家事用改定率 (%)	家事用使用料金 40m ³ /2か月(円)
近隣 事業体	新城市※1	R5.8	基本:40.5～50.3 従量:0	基本:40.5(13mm)、41.3(20mm) 従量:0	6,578
	袋井市	R4.4	11.4	11.4	5,940
	森町※1	R5.4	基本:22.2～25.0 従量:22.2	基本:22.2(13mm)、25.0(20mm) 従量:22.2	5,324
その他 県内 事業体	静岡市	R2.10	14.8	32.7	5,214
	三島市	H29.10	34.3	34.3	4,380
	磐田市	H30.04	10.7	12.6	5,165
	河津町	R4.4	31.5	31.5	7,040
	小山町※1	R4.12	基本:10.0～98.3 従量:34.4	基本:10.0(13mm)、10.0(20mm) 従量:34.4	2,794
	富士市※1	R5.10	基本:14.9～26.5 従量:基本水量廃止	基本:25.8(13mm)、16.2(20mm) 従量:基本水量廃止	4,444

注) 袋井市、静岡市、三島市、磐田市、河津町の改定率は改定前と改定後の収益比率から算定

※1 新城市、森町、小山町、富士市は口径別基本料金及び従量料金の改定率を記載。また、新城市はR6に2段階目の改定を予定

出典:水道料金表((公社)日本水道協会) 新城市、森町、小山町、富士市は自治体HPより

3. 次期料金設定・料金表の検討

【まとめ】

次期料金設定・料金表について湖西市の考え方は以下のとおりです。

(1) 今後必要となる収入の確保

- 料金改定率は、長期にわたり概ね適正な水準で内部留保資金目標額を確保可能、かつ改定率が高くなりすぎない「改定率10%」を採用案とする

(2) 基本水量の廃止

- 口径13mm、20mmの基本水量を廃止し、1～16m³に従量料金を設定、基本料金を調整

(3) 口径13mmと20mmの水道料金の格差低減

- 料金表の設定方針は、口径13mmと20mmの水道料金の格差を低減した「設定案④」を採用案とする

(4) 納付書・検針票のペーパーレス化に対する減免の実施

- 口座振替・クレジット利用者へ55円(税込)の減免
- 検針票SMS利用者(検針票不要の方を含む)へ55円(税込)の減免

4. 次回検討項目

4. 次回検討項目

【審議会スケジュール】

昨年度の検討

1回目（8月10日）
審議会の進め方・審議概要

2回目（12月26日）
今後の料金負担のあり方の検討

3回目（7月11日）
今後の料金負担の方針整理

4回目（11月6日）【今回】
次期料金設定・料金表の検討

5回目（1月15日予定）
料金改定計画書案の検討

～ パブリックコメント ～ （2月）

6回目（3月18日予定）
料金改定計画書の答申

今年度の検討

- 当市水道事業経営の状況及び全国の水道料金の傾向
- 次回審議項目の説明（今後の料金負担のあり方）
- 時間帯別料金体系の実証実験の説明
- 水需要予測、財政シミュレーション見直し方針の確認
- これまでの料金負担（算定）の考え方
- 今後の料金負担（新たな料金負担）のあり方の検討
- 今後の料金負担の基本方針について
- 財政シミュレーション見直し結果
- 料金改定シミュレーション結果
- 水道料金改定（案）について
- 次期料金設定・料金表の検討
- 料金改定計画書案の取りまとめ
- 時間帯別料金体系の実証実験結果報告
- パブリックコメントの確認
- 料金改定計画書の答申